

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★★★	RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★★★★★
感染性胃腸炎		★★	水痘		★
手足口病		★	伝染性紅斑		★★★★★
突発性発疹		★	百日咳		
ヘルパンギーナ		★	流行性耳下腺炎		★★★★★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★	クラミジア肺炎		
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		* 感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、2013 年第 42 週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。			

【記号の説明】 前週からの推移：

 : 2 倍以上の減少
  : 1.1～2 倍未満の減少
  : 1.1 未満の増減

 : 1.1～2 倍未満の増加
  : 2 倍以上の増加

発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。

空白:発生なし ★: 僅か ★★:少し ★★★:やや多い ★★★★:多い ★★★★★:非常に多い

**中南米地域でジカウイルス感染症が流行しています。
妊娠中または妊娠を予定している方は、
流行国・地域への渡航は、可能な限り控えましょう。**

ジカウイルス感染症とは、ジカウイルスによる感染症で、主にヤブカ属のネッタイシマカやヒトスジシマカにより媒介されます。主な流行地は、アフリカ、中央・南アメリカ、アジア太平洋地域などで、2015 年以降、ブラジルをはじめとする中南米で流行しています。

ジカウイルス感染症は、症状自体は軽度ですが、感染後にギラン・バレー症候群の発症や、流行地域で小頭症の新生児が増加しており、この感染症との関連性が疑われています。2 月 1 日、WHO は、小頭症及び神経障害の集団発生に関する「国際的に懸念される公衆の保健上の緊急事態（PHEIC）」を宣言しました。

流行国・地域へ渡航される方は、蚊に刺されないよう予防処置を取ってください。特に妊娠中または妊娠を予定している方は、流行国・地域への渡航は可能な限り控えるよう、十分注意してください。

➤ **渡航先で蚊に刺されないための対策**

- ・ 長袖・長ズボンを着用し、肌の露出は避けましょう。
- ・ 虫よけ剤（ディート含有）を使用しましょう。
使用する際は、必ず添付文書に記載されている使用法を守ってください。子ども、特に乳児への使用については、小児科にご相談ください。
- ・ 設備が（網戸やエアコンなど）整っている、または、蚊をしっかりと駆除している宿泊施設を利用しましょう。
- ・ 室内では、電気蚊取り器、蚊取り線香、蚊帳などを使用しましょう。

➤ **帰国時・帰国後**

- ・ すべての蚊がジカウイルスを保有しているわけではないので、蚊に刺されたことだけで過分に心配する必要はありませんが、心配な方や発熱等の症状のある方は、帰国された際に、検疫所でご相談ください。
- ・ 帰国後に心配なことがある場合は、最寄りの保健所等にご相談ください。

[ジカウイルス感染症に関する Q&A について（厚生労働省）](#)
[渡航時におけるジカ熱への注意について（厚生労働省検疫所）](#)

【医療機関の方へ】

○ 渡航歴や臨床症状等から、ジカウイルス感染症の可能性が考えられる患者を診察した場合には、管轄の保健所への情報提供をお願いします。

○ [感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行令の一部が改正されました。](#)
「ジカウイルス感染症」が四類感染症（全数）に追加されます。（平成 28 年 2 月 15 日施行）

インフルエンザ週報 2016 年 第 5 週 (2 月 1 日 ~ 2 月 7 日)

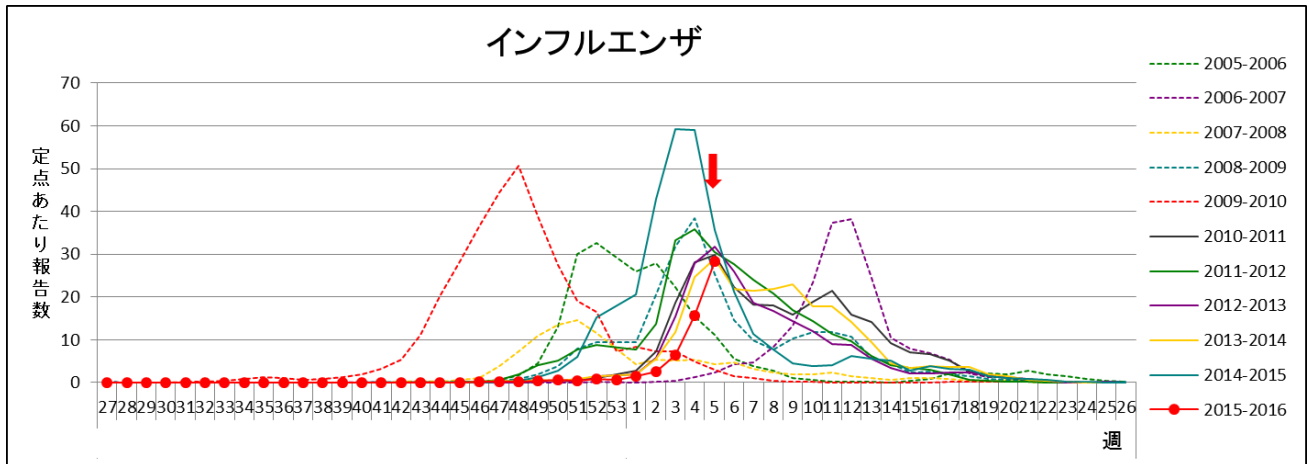
岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です。

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で 2379 名（定点あたり 28.32 人）の報告がありました。（84 定点医療機関報告）
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 145 施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者 9 名の報告がありました。

【第 6 週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 104 施設でありました。（2 月 8 日 ~ 9 日）



インフルエンザは、県全体で 2379 名（定点あたり 15.56 → 28.32 人）の報告があり、前週より大きく増加しました。岡山県は、1 月 14 日に「インフルエンザ注意報」を発令し、広く注意を呼びかけています。

全ての地域で定点あたり報告数が増加しており、倉敷市（26.50 → 56.75 人）、備中地域（23.92 → 31.67 人）では、警報発令基準（30.00 人）を超え、発生レベル 3 になりました。岡山市（16.32 → 28.77 人）、備前地域（10.27 → 16.53 人）に加え、新たに備北地域（7.00 → 20.67 人）が、発生レベル 2 となっています。

第 5 週学校等の臨時休業は、前週（73 施設）より倍増し、145 施設から報告がありました。また第 6 週（2/8～）速報でもひきつづき多数報告されていることから、幼稚園・小中学校、高等学校などで集団生活をしている年齢層での感染拡大が懸念されます。

『外出後や食事前の手洗いを徹底する。』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する。』『十分な睡眠を取る。』など、感染予防に努めてください。また症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

1. 地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	2379	▲	備 中	患者数	380	▲
	定点あたり	28.32			定点あたり	31.67	
岡山市	患者数	633	▲	備 北	患者数	124	▲
	定点あたり	28.77			定点あたり	20.67	
倉敷市	患者数	908	▲	真 庭	患者数	19	▲
	定点あたり	56.75			定点あたり	6.33	
備 前	患者数	248	▲	美 作	患者数	67	▲
	定点あたり	16.53			定点あたり	6.70	

【記号の説明】 前週からの推移 ↓ : 2 倍以上の減少 ▲ : 1.1 ~ 2 倍未満の減少 ➡ : 1.1 未満の増減
 ▲ : 1.1 ~ 2 倍未満の増加 ↑ : 2 倍以上の増加

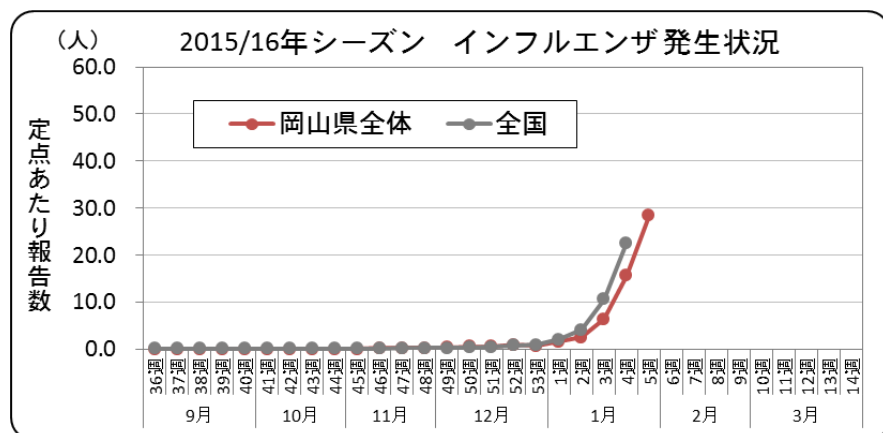
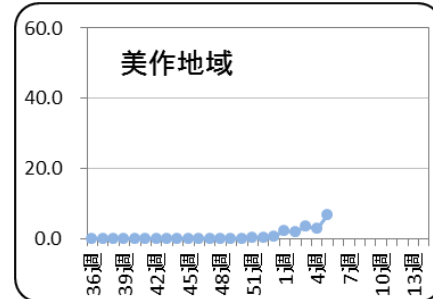
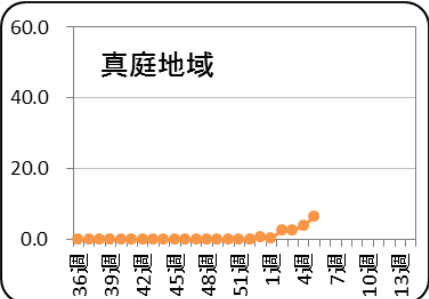
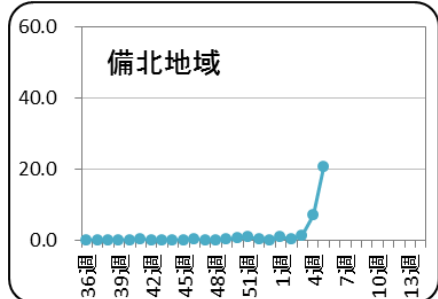
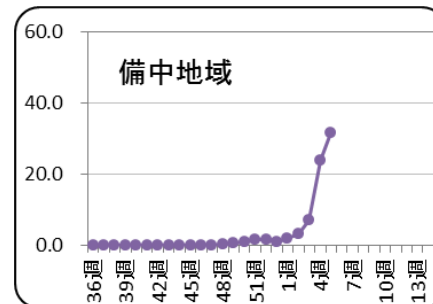
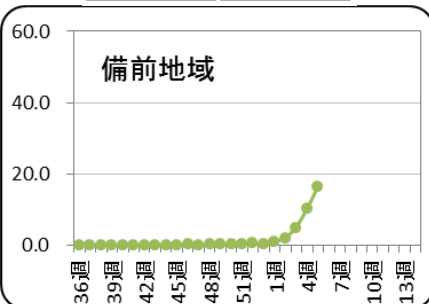
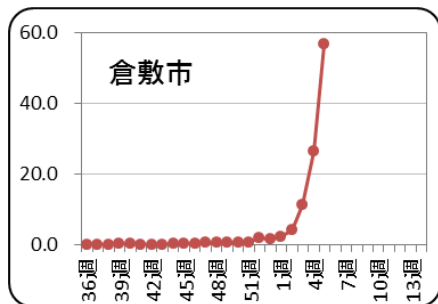
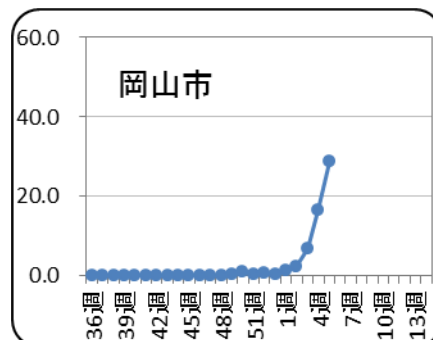
インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満

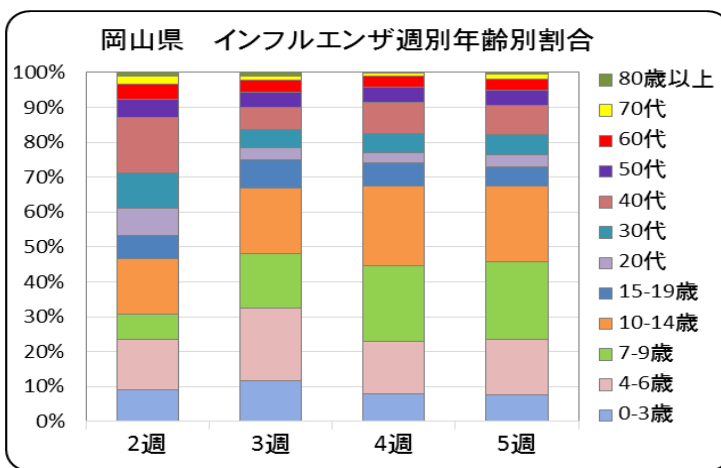
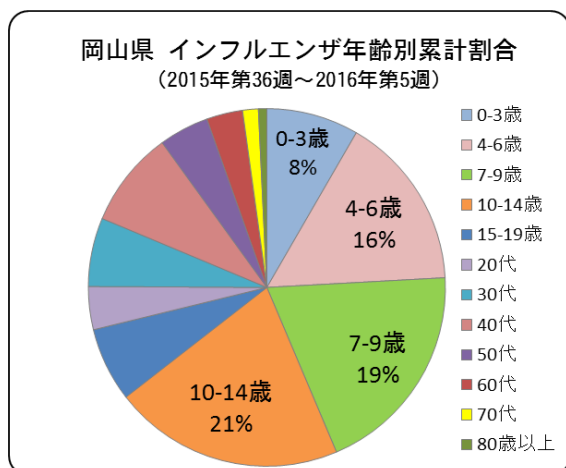
レベル1	報告なし
基準値	基準値
0 < 10 未満	0



全国集計第4週（1/25～1/31）速報値によると、全国の定点あたり報告数は22.57人となり、前週（10.56人）より大きく増加しました。都道府県別では、新潟県（39.44人）、沖縄県（34.29人）、福岡県（31.88人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。

2. 年齢別発生状況

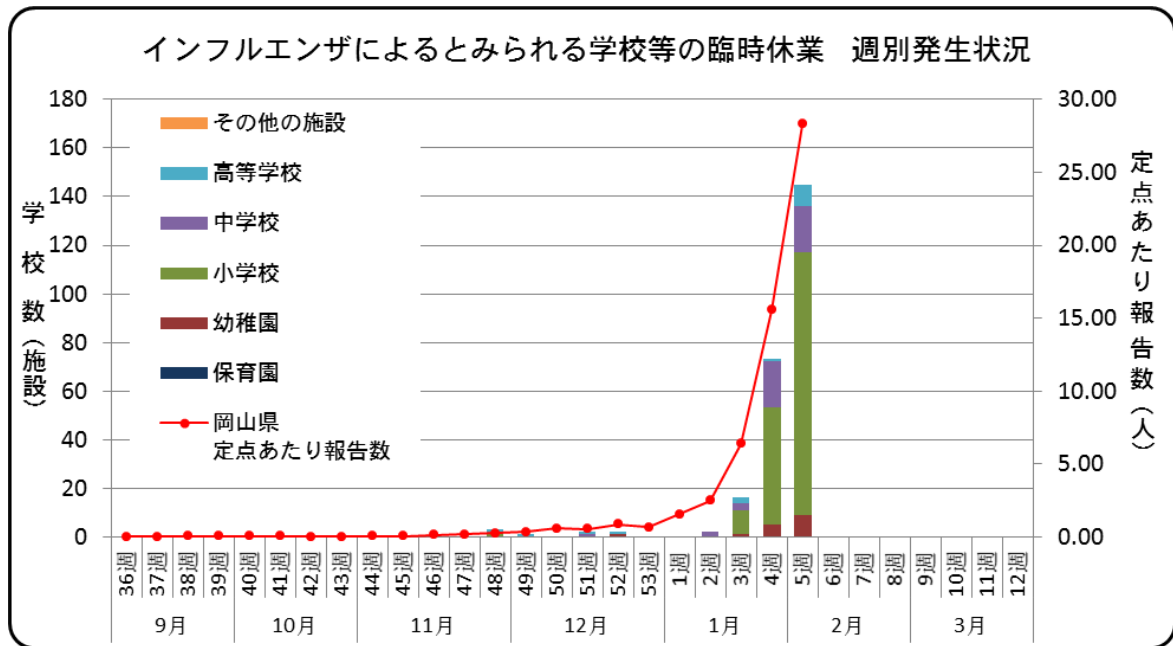
今シーズンの年齢別累計割合は、10～14歳 21%、7～9歳 19%、4～6歳 16%の順で高くなっています。週別の年齢別割合をみると、第4週から小中学校で集団生活をしている年齢層の割合が高くなっています。



3. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 145 施設でありました。

【第 5 週 臨時休業施設数】▽岡山市 58 ▽倉敷市 50 ▽浅口市 7 ▽総社市 6 ▽里庄町 4 ▽津山市 3
▽瀬戸内市 2 ▽早島町 2 ▽玉野市 1 ▽笠岡市 1 ▽井原市 1 ▽高梁市 1
▽備前市 1 ▽赤磐市 1 ▽真庭市 1 ▽美作市 1 ▽和気町 1 ▽矢掛町 1
▽勝央町 1 ▽奈義町 1 ▽吉備中央町 1



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	2933	4640	2137	3407	145	244	1	1	15	29	129	214	H27.11.24
岡山市	1361	2148	958	1547	58	98	—	—	2	8	56	90	H27.11.24
倉敷市	994	1482	724	1095	50	83	1	1	3	4	46	78	H27.12.15
備前地域	153	192	112	149	7	10	—	—	4	6	3	4	H27.11.24
備中地域	337	720	268	533	23	45	—	—	4	9	19	36	H27.11.24
備北地域	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
真庭地域	6	6	6	6	1	1	—	—	1	1	—	—	H28. 2. 1
美作地域	82	92	69	77	6	7	—	—	1	1	5	6	H28.1.25

2) 臨時休業施設数の内訳

第 5 週 : 145 施設

累計 : 244 施設

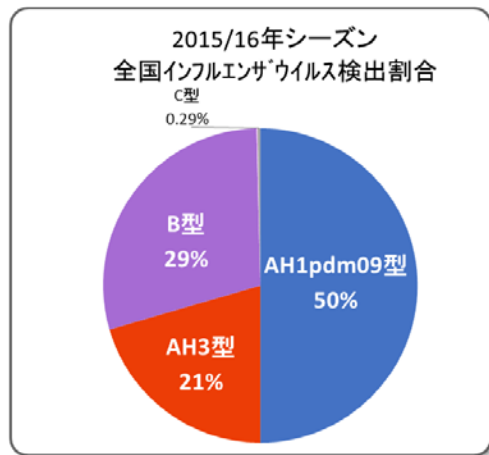
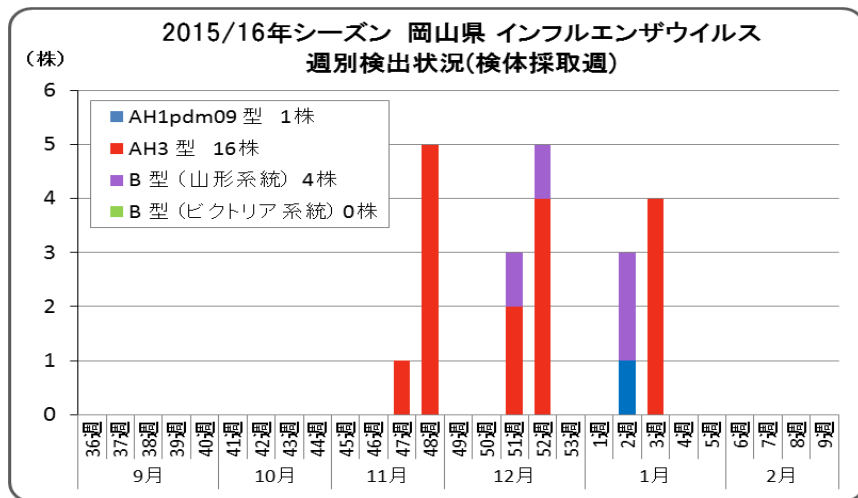
	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	9	16	108	167	19	44	9	17	—	—

4. インフルエンザウイルス検出状況

第5週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、ありませんでした。今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型 16株（76%）、B型（山形系統）4株（19%）、AH1pdm09型 1株（6%）となっています。

今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09型 515株（50%）、B型 300株（29%）、AH3型 211株（21%）となっています。（2016年2月5日現在）

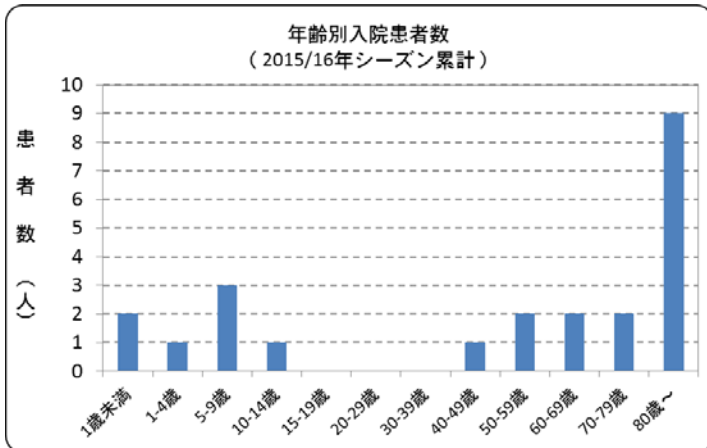
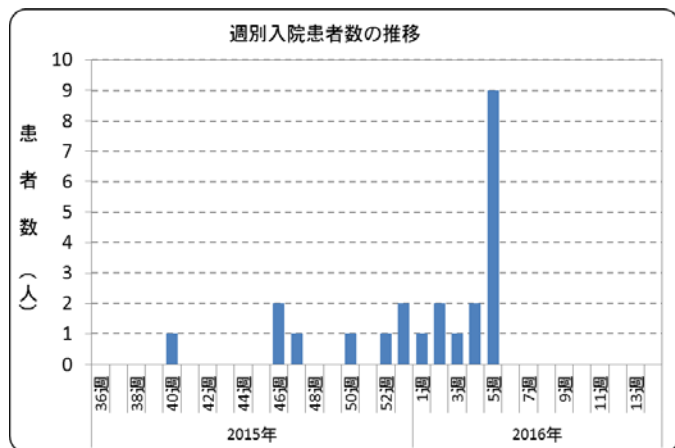
[インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立感染症研究所）](#)



5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、9名（1歳未満 2名、5-9歳 2名、40-49歳 1名、60-69歳 1名、70-79歳 1名、80歳以上 2名）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



【第5週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	2		2					1		1	1	2	9
ICU入室													
人工呼吸器の利用													
頭部CT検査(予定含)											1	1	2
頭部MRI検査(予定含)													
脳波検査(予定含)													
いずれにも該当せず	2		2					1		1		1	7

* 重複あり

【2015 年 8 月 31 日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1 歳 未満	1～4 歳	5～9 歳	10～ 14 歳	15～ 19 歳	20～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60～ 69 歳	70～ 79 歳	80 歳 以上	計*
入院患者数	2	1	3	1				1	2	2	2	9	23
ICU 入室			1						1				2
人工呼吸器の利用			1						1		1		3
頭部 CT 検査(予定含)		1									1	2	4
頭部 MRI 検査（予定含）				1								1	2
脳波検査（予定含）			1										1
いずれにも該当せず	2		2					1		2		7	14

* 重複あり

◆インフルエンザは流行期に入っています。
感染予防に努めましょう。

【 予 防 】

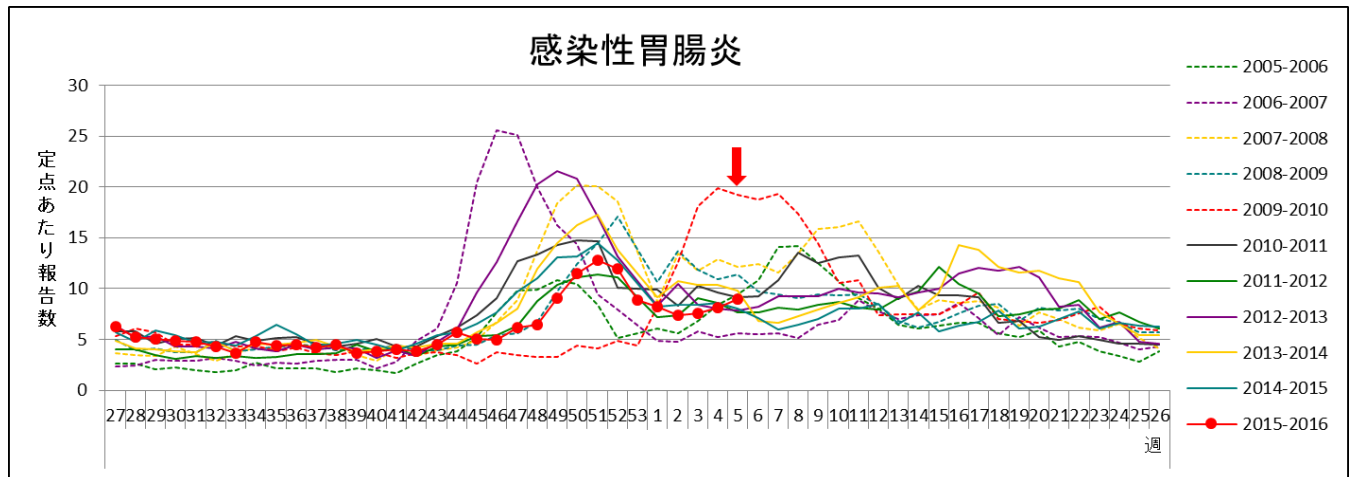
- * 外出後は手洗いをしましょう。アルコールを含んだ消毒剤で手を消毒するのも効果的です。
- * 人混みでは、マスクを着用しましょう。
- * 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- * 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度(50～60%)を保ちましょう。

【 かかったかな？という時には 】

- * 早めに医療機関を受診しましょう。
- * 周りの人にうつさないように、「咳エチケット」を心がけましょう。
- * 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。

感染性胃腸炎週報 2016 年 第 5 週 (2 月 1 日 ~ 2 月 7 日)

○感染性胃腸炎は、県全体で 482 名（定点あたり 8.09 → 8.93 人）の報告がありました（54 定点医療機関報告）。

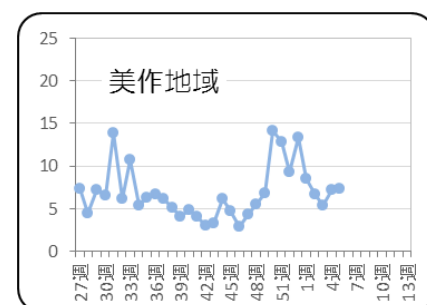
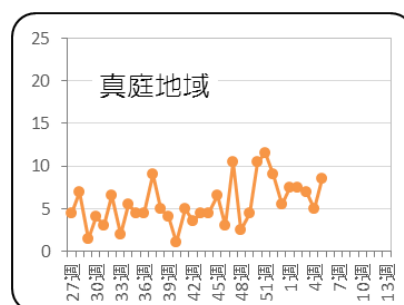
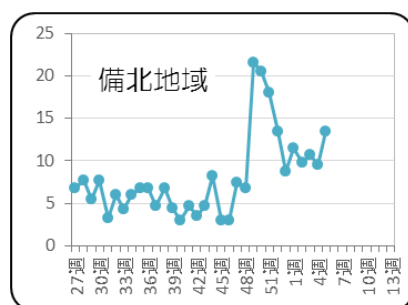
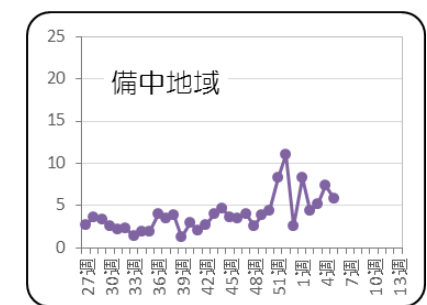
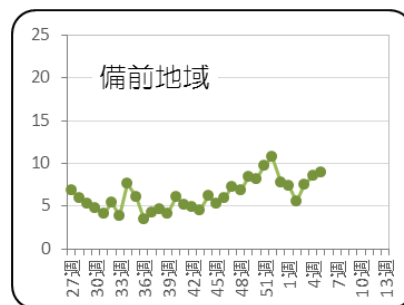
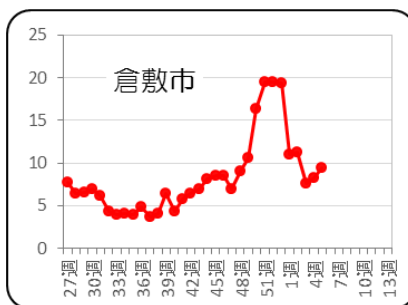
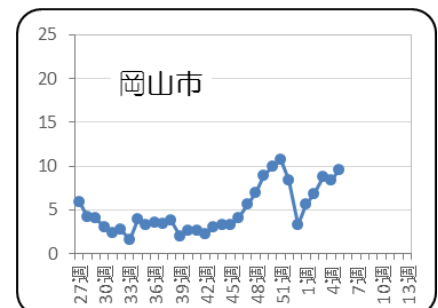
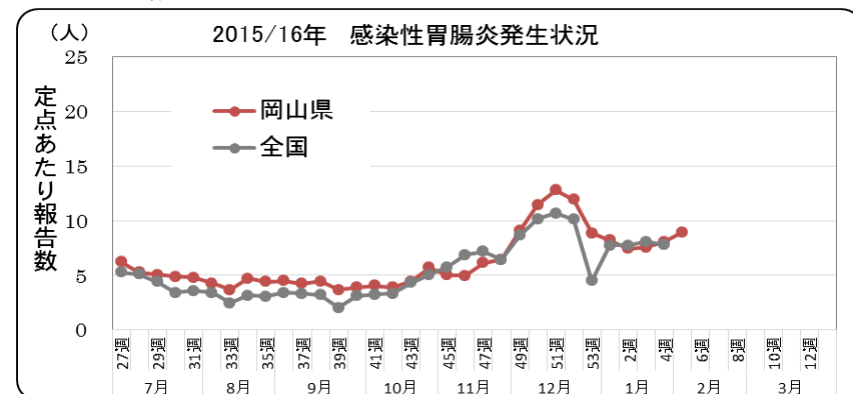


※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27 週～翌年 26 週でグラフを作成しています。

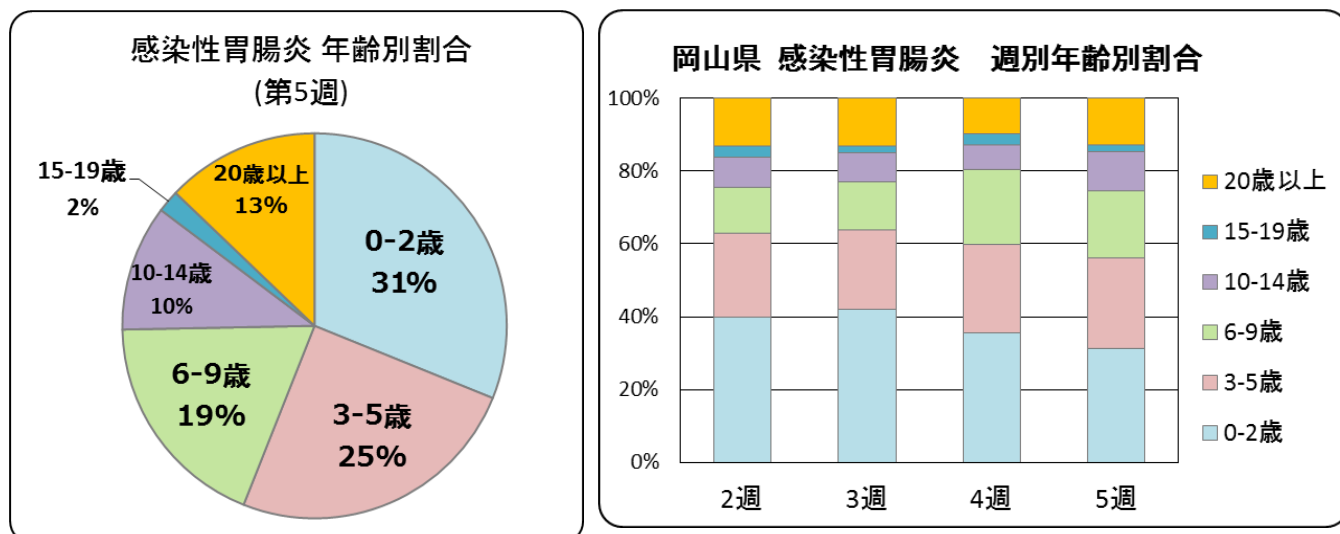
感染性胃腸炎は、県全体で 482 名（定点あたり 8.09 → 8.93 人）の報告があり、前週よりわずかに増加しました。県全体の報告数は 12 月をピークに減少しましたが、依然として多くの患者が報告されています。地域別では、備北地域（13.50 人）、岡山市（9.50 人）、倉敷市（9.45 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。

冬の感染性胃腸炎の原因は、ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの徹底や、下痢便・おう吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。また、小さなお子さんや高齢者の方は、おう吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

◆地域別・年齢別発生状況



第5週年齢別割合では、0-2歳が31%と最も高く、次いで3-5歳 25%、6-9歳 20%の順となっています。第3週までと比較して、第4週以降、幼稚園・小中学校に通う年齢層の割合が増加しています。



◆◆ ノロウイルスに感染しないためには ◆◆

1. 最も大切なことは手を洗うことです。

排便後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

2. 処理をする人自身が感染しないように気をつけましょう。

おう吐物や下痢便にはウイルスが大量に含まれています。処理するときは、使い捨ての上着や、マスク、手袋を着用し、下痢便、おう吐物をペーパータオル等で静かに拭き取った後は、**次亜塩素酸ナトリウム（家庭用塩素系漂白剤でも代用可）**で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをします。アルコールは、ノロウイルスに対して消毒効果が低いとされています。また、処理をした後はしっかりと流水で手を洗いましょう。

3. おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、**85℃で1分以上の熱水洗濯か次亜塩素酸ナトリウム（家庭用塩素系漂白剤でも代用可）**の消毒が有効です。

おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、付着した汚物を除去し、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗いした後、熱水洗濯か次亜塩素酸ナトリウムで消毒をしましょう。

※塩素系漂白剤の使用に当たっては「使用上の注意」を確認しましょう。

4. 食品は、中心部まで十分に加熱しましょう。（中心部を85～90℃で90秒間以上）

二枚貝の生食を控えましょう。中心部までしっかり加熱すれば安心です。

保健所別報告患者数（定点把握）2016年第5週（2016/02/01～2016/02/07）

2016年2月10日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2379	28.32	633	28.77	908	56.75	248	16.53	380	31.67	124	20.67	19	6.33	67	6.70
RSウイルス感染症	13	0.24	5	0.36	2	0.18	2	0.20	3	0.43	1	0.25	—	—	—	—
咽頭結膜熱	12	0.22	6	0.43	2	0.18	1	0.10	—	—	—	—	1	0.50	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	94	1.74	26	1.86	54	4.91	3	0.30	5	0.71	3	0.75	—	—	3	0.50
感染性胃腸炎	482	8.93	133	9.50	104	9.45	89	8.90	41	5.86	54	13.50	17	8.50	44	7.33
水痘	17	0.31	4	0.29	5	0.45	—	—	1	0.14	5	1.25	—	—	2	0.33
手足口病	3	0.06	1	0.07	—	—	—	—	—	—	2	0.50	—	—	—	—
伝染性紅斑	19	0.35	7	0.50	4	0.36	5	0.50	1	0.14	—	—	—	—	2	0.33
突発性発疹	14	0.26	7	0.50	1	0.09	3	0.30	1	0.14	—	—	—	—	2	0.33
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	1	0.02	—	—	—	—	—	—	1	0.14	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	71	1.31	30	2.14	5	0.45	9	0.90	3	0.43	12	3.00	6	3.00	6	1.00
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	7	0.58	2	0.40	1	0.25	4	4.00	—	—	—	—	—	—	—	—
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	2	0.40	—	—	2	2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	9	1.80	3	3.00	6	6.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

（－： 0 or 0.00） （空白： 定点なし）

保健所別報告患者数（発生レベル設定疾患）2016年 5週

（ 2016/02/01～2016/02/07 ）

2016年2月10日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2379	28.32	633	28.77	908	56.75	248	16.53	380	31.67	124	20.67	19	6.33	67	6.70
咽頭結膜熱	12	0.22	6	0.43	2	0.18	1	0.10	—	—	—	—	1	0.50	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	94	1.74	26	1.86	54	4.91	3	0.30	5	0.71	3	0.75	—	—	3	0.50
感染性胃腸炎	482	8.93	133	9.50	104	9.45	89	8.90	41	5.86	54	13.50	17	8.50	44	7.33
水痘	17	0.31	4	0.29	5	0.45	—	—	1	0.14	5	1.25	—	—	2	0.33
手足口病	3	0.06	1	0.07	—	—	—	—	—	—	2	0.50	—	—	—	—
伝染性紅斑	19	0.35	7	0.50	4	0.36	5	0.50	1	0.14	—	—	—	—	2	0.33
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	1	0.02	—	—	—	—	—	—	1	0.14	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	71	1.31	30	2.14	5	0.45	9	0.90	3	0.43	12	3.00	6	3.00	6	1.00
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	7	0.58	2	0.40	1	0.25	4	4.00	—	—	—	—	—	—	—	—

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3

薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2

を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2016年 第5週 2016/02/01～2016/02/07)

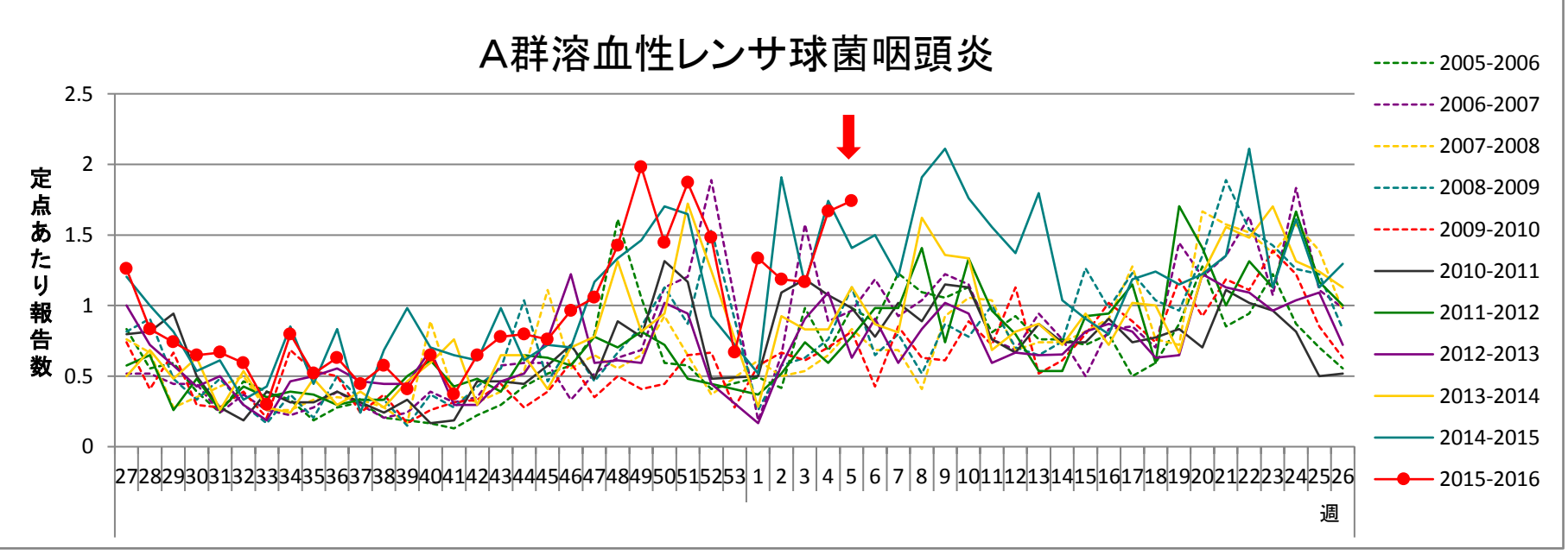
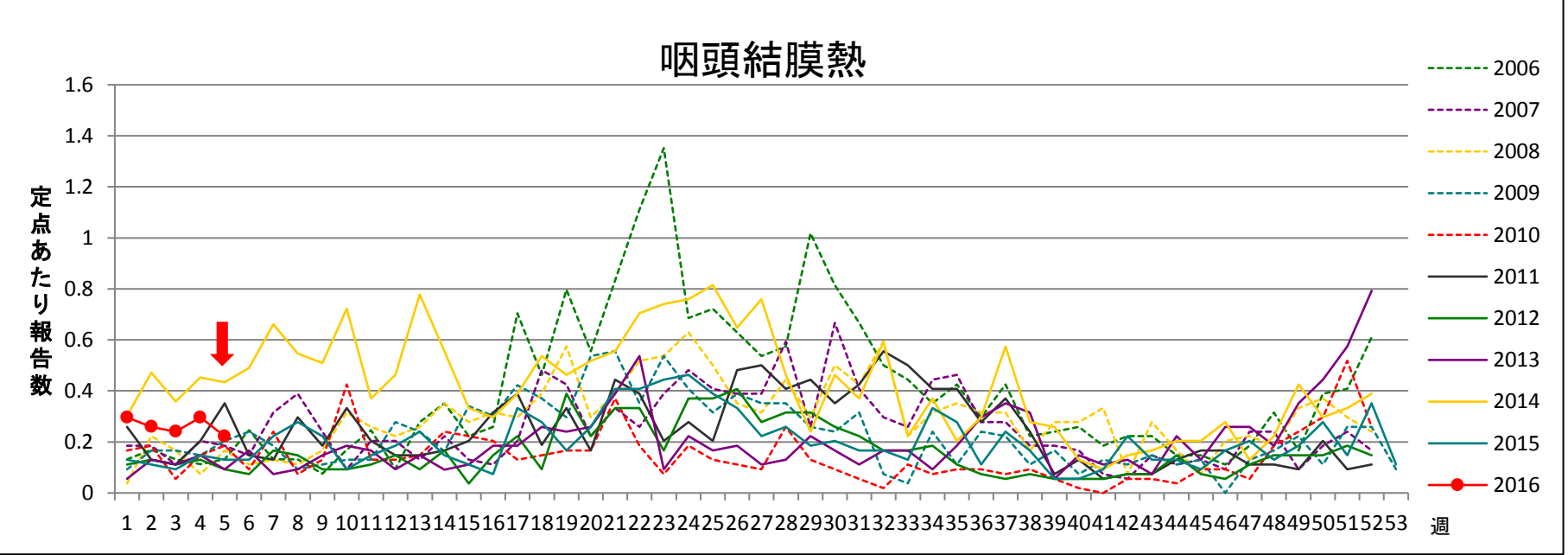
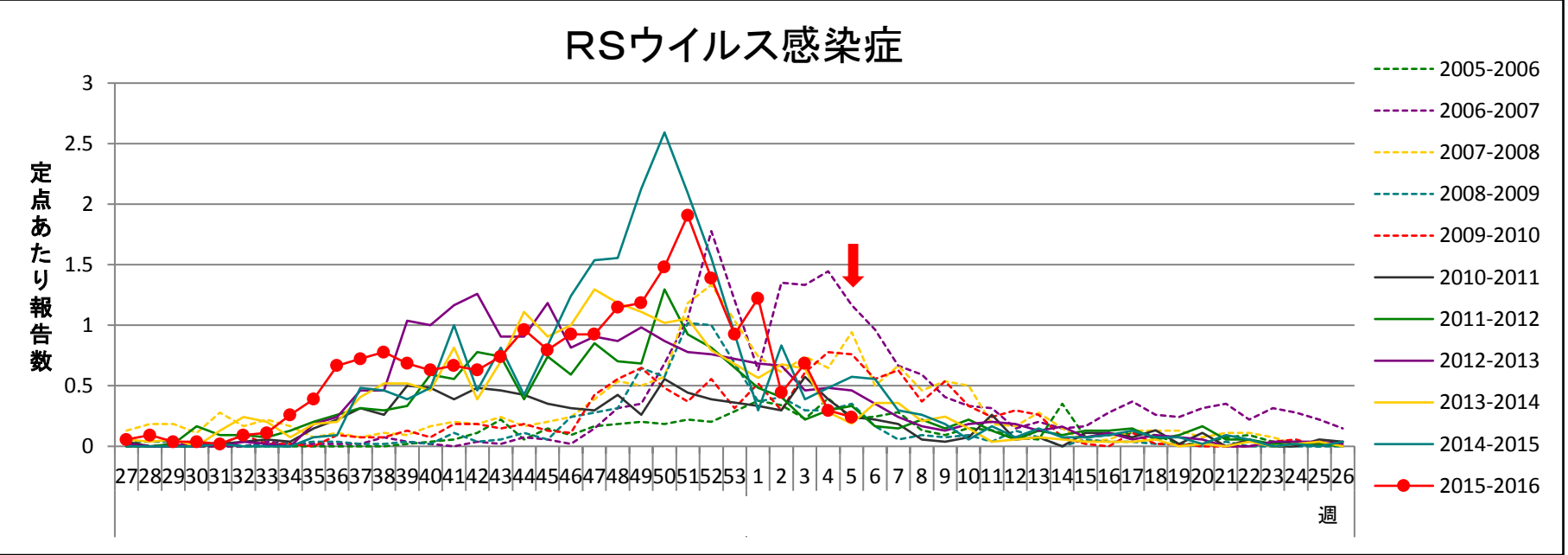
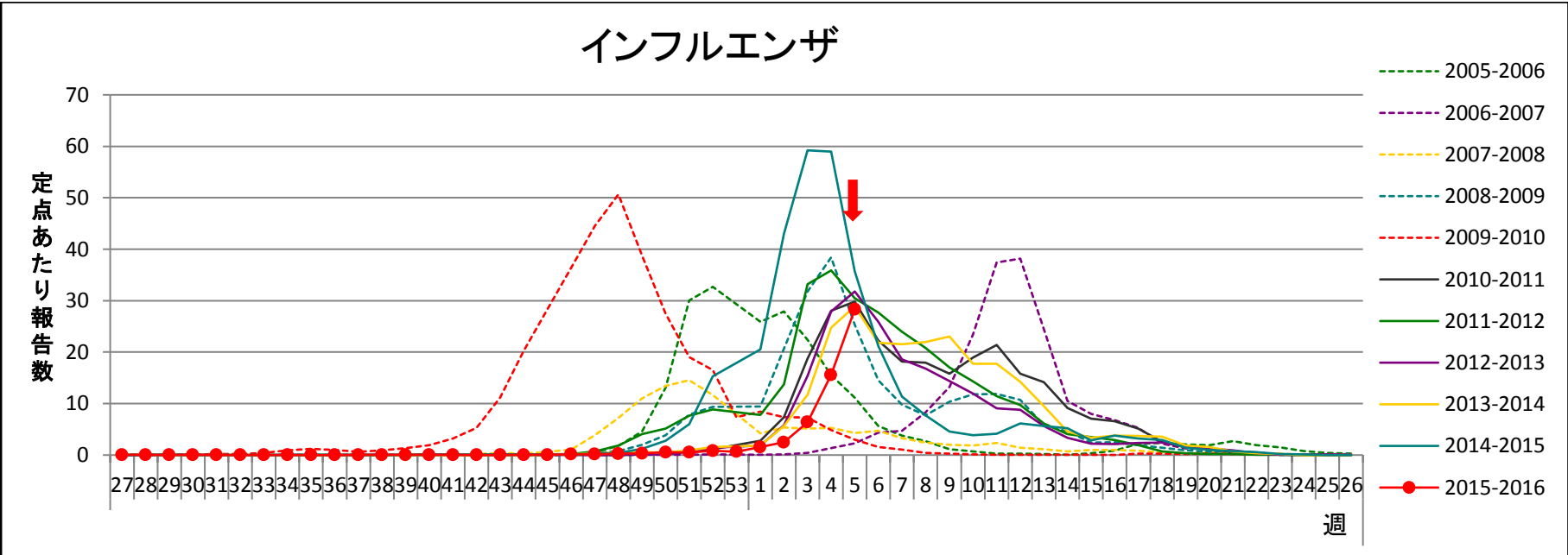
疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	2379	6	15	53	55	52	89	133	154	198	171	160	518	135	80	140	195	106	74	33	12

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	13	4	1	7	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	12	-	2	4	1	-	2	-	1	1	1	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	94	-	-	2	3	6	12	21	8	13	6	9	12	1	1
感染性胃腸炎	482	5	16	81	48	39	44	37	28	19	26	17	51	9	62
水痘	17	-	2	1	2	3	1	3	4	1	-	-	-	-	-
手足口病	3	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	19	-	-	1	1	3	5	1	3	1	2	-	2	-	-
突発性発疹	14	1	5	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	71	-	-	1	8	10	10	10	4	10	3	6	6	-	3

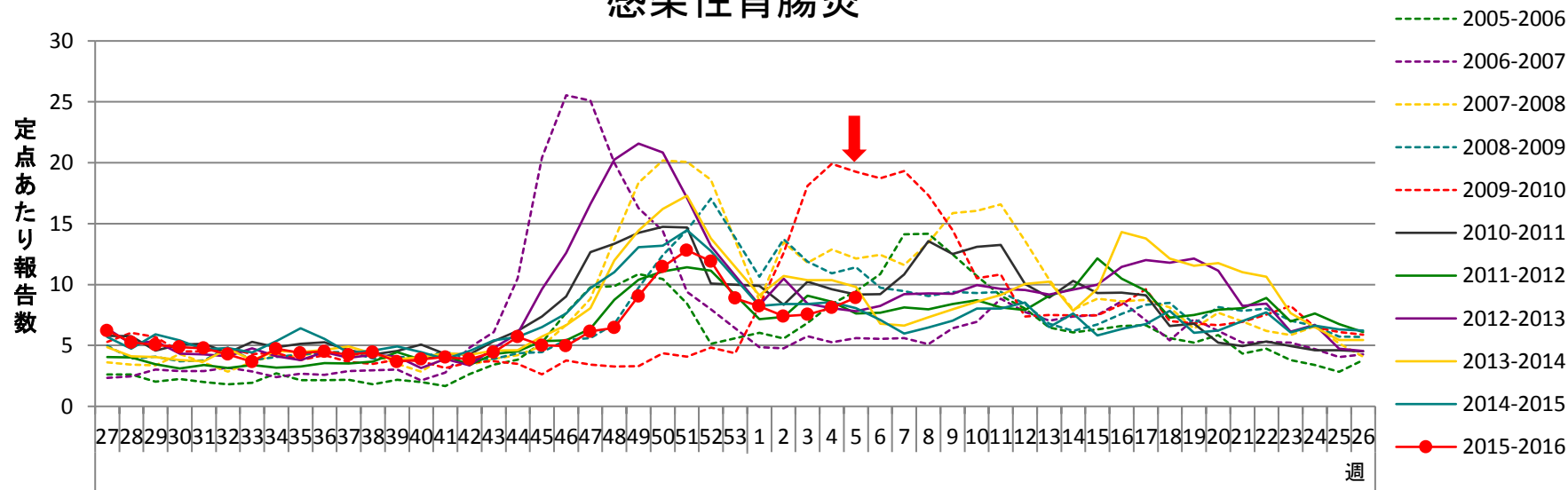
疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	7	-	-	1	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	1	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	9	2	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

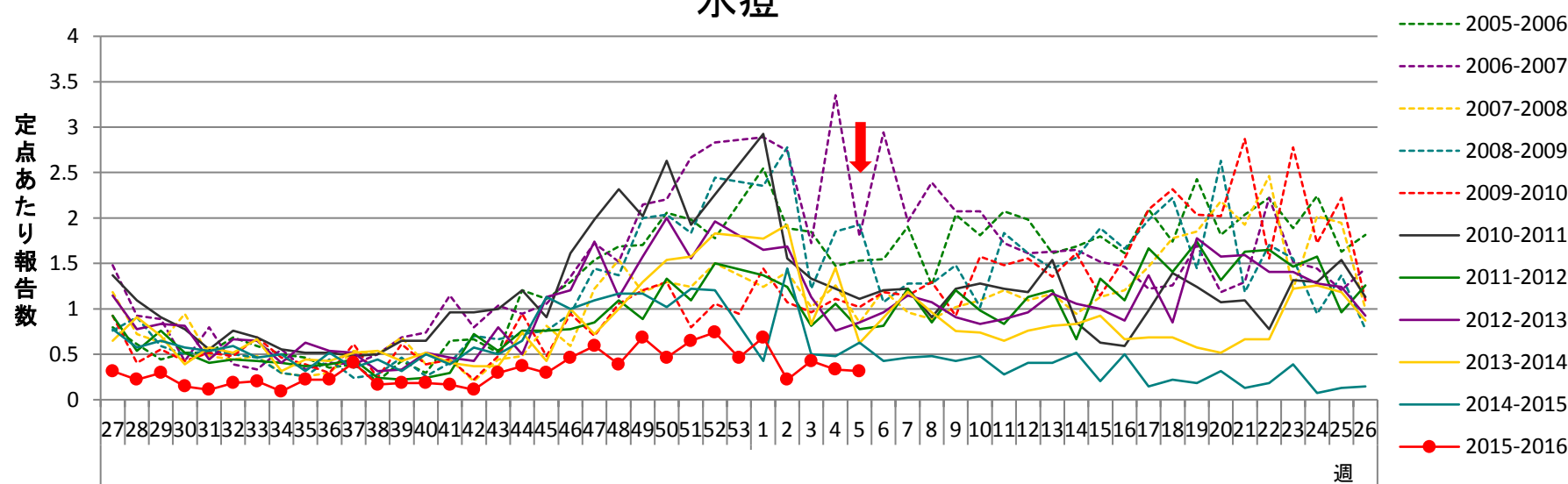
(- : 0)



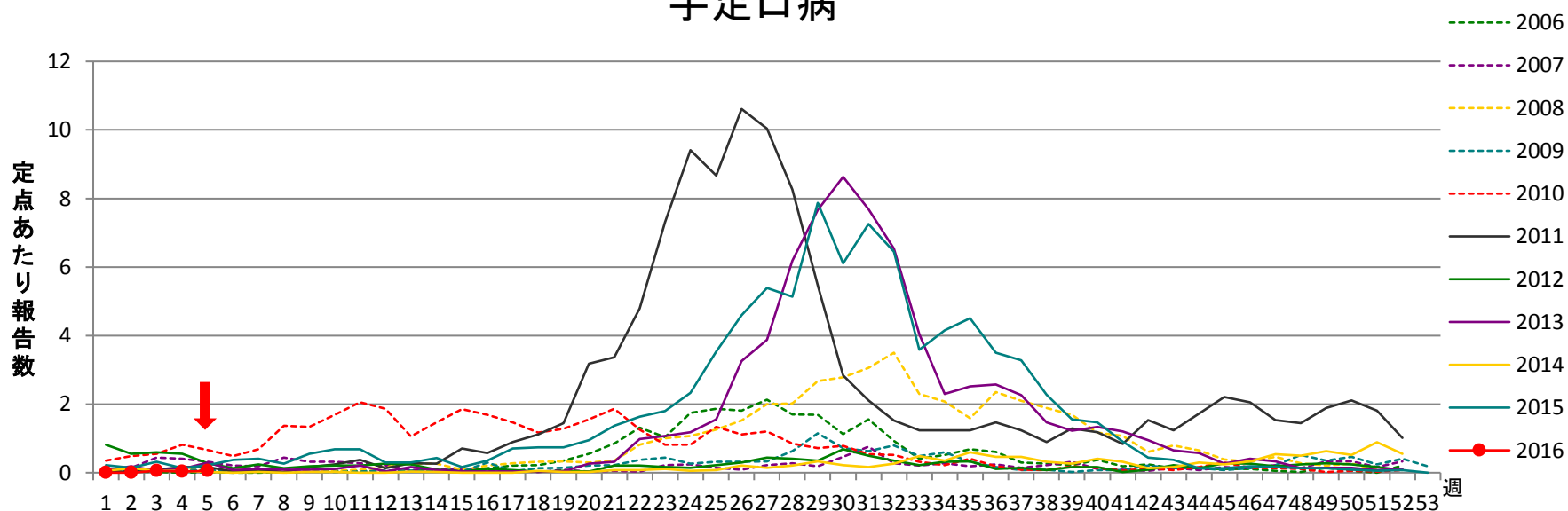
感染性胃腸炎



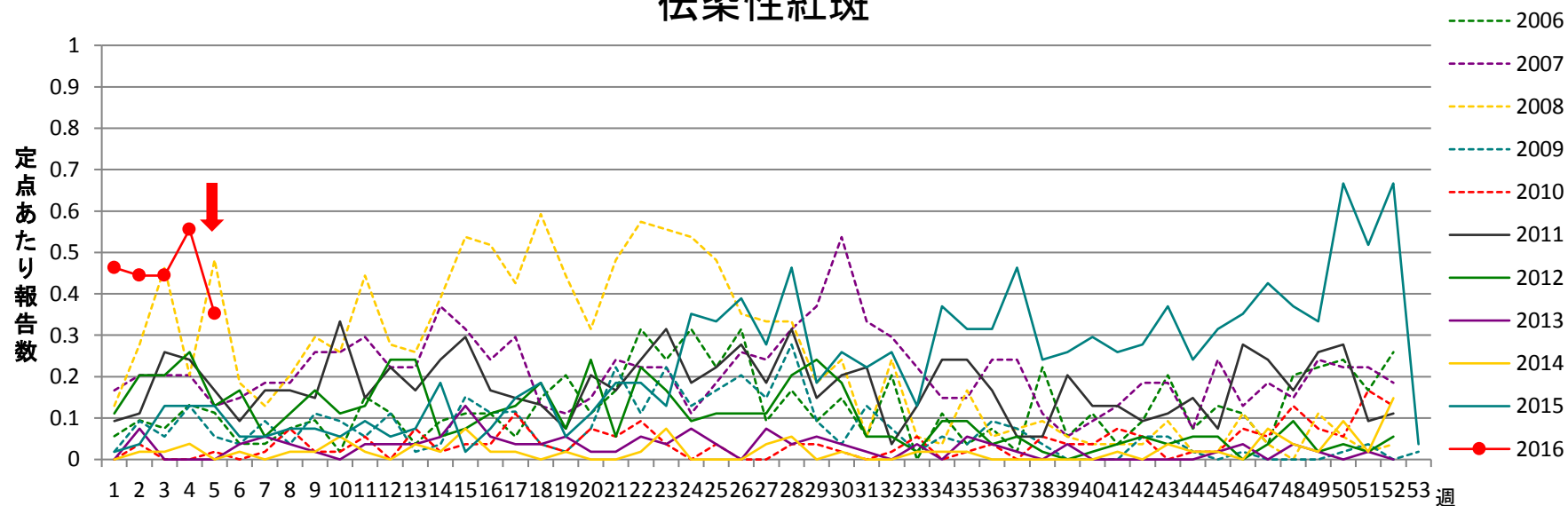
水痘



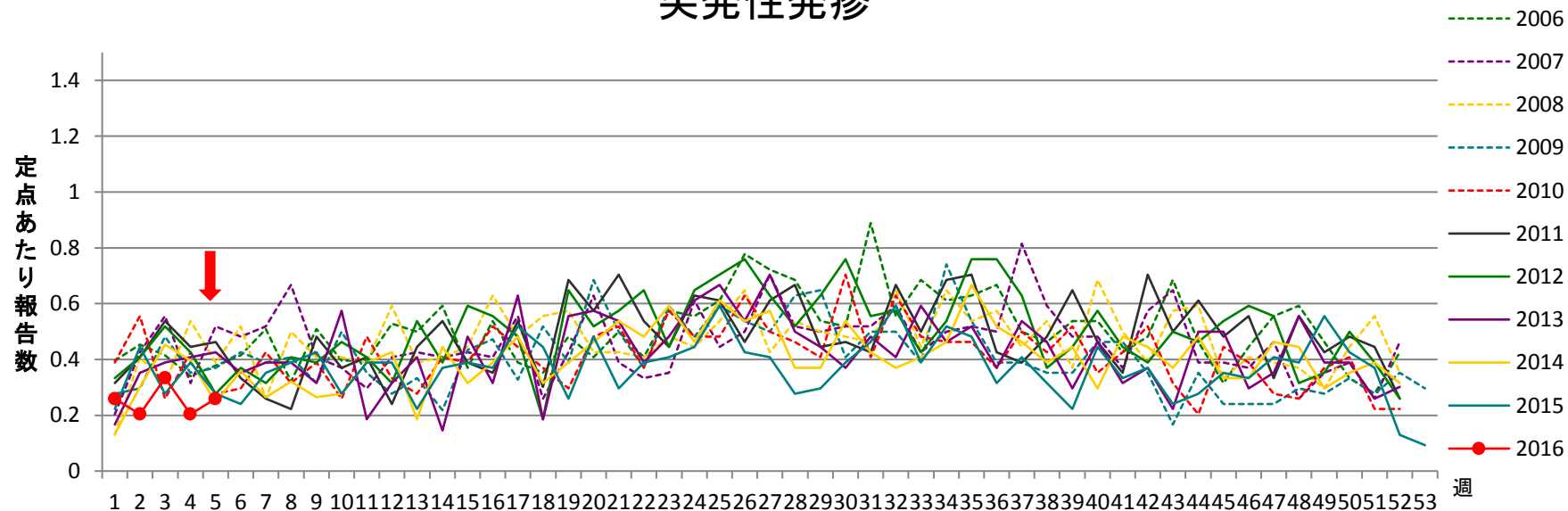
手足口病



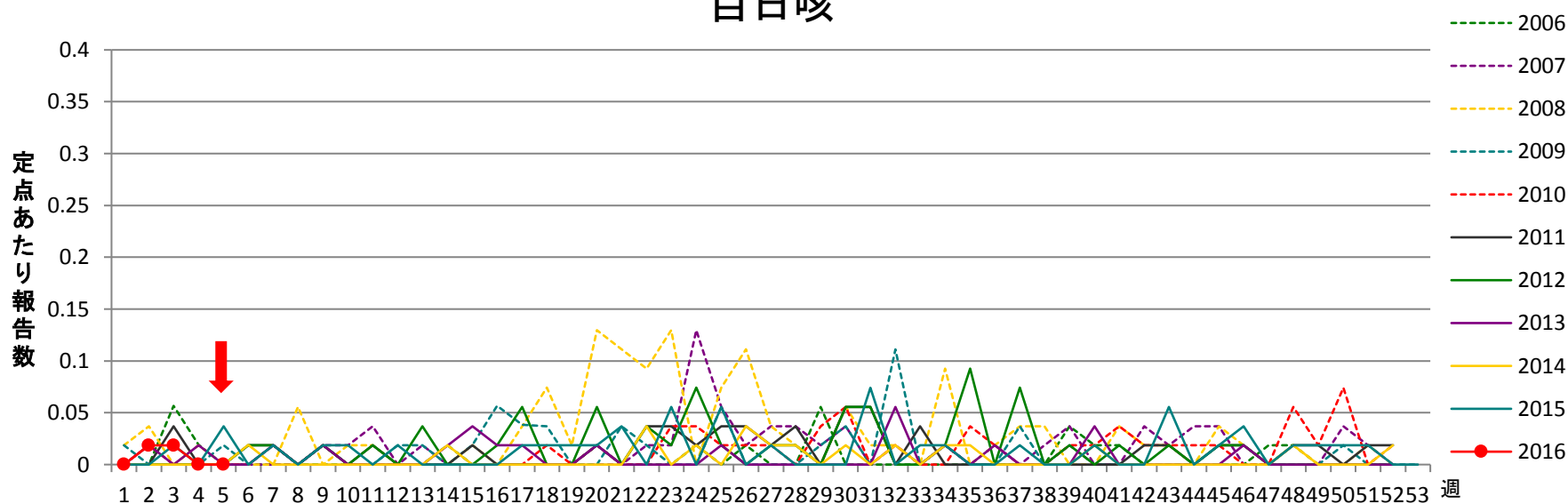
伝染性紅斑



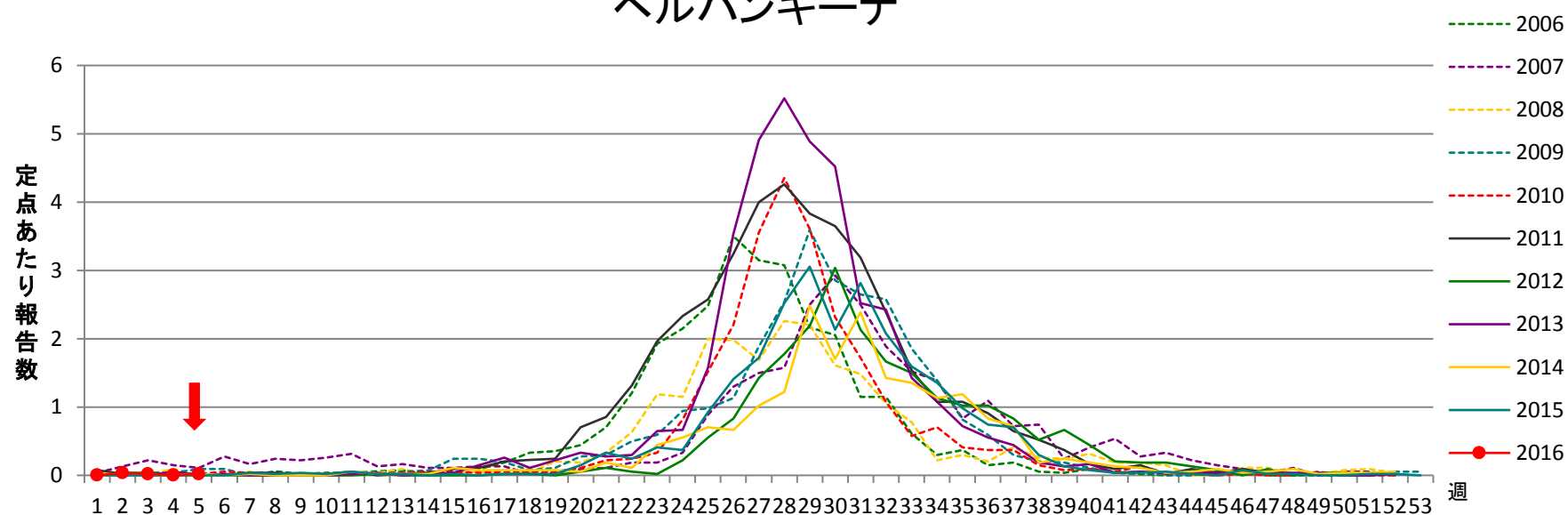
突発性発疹



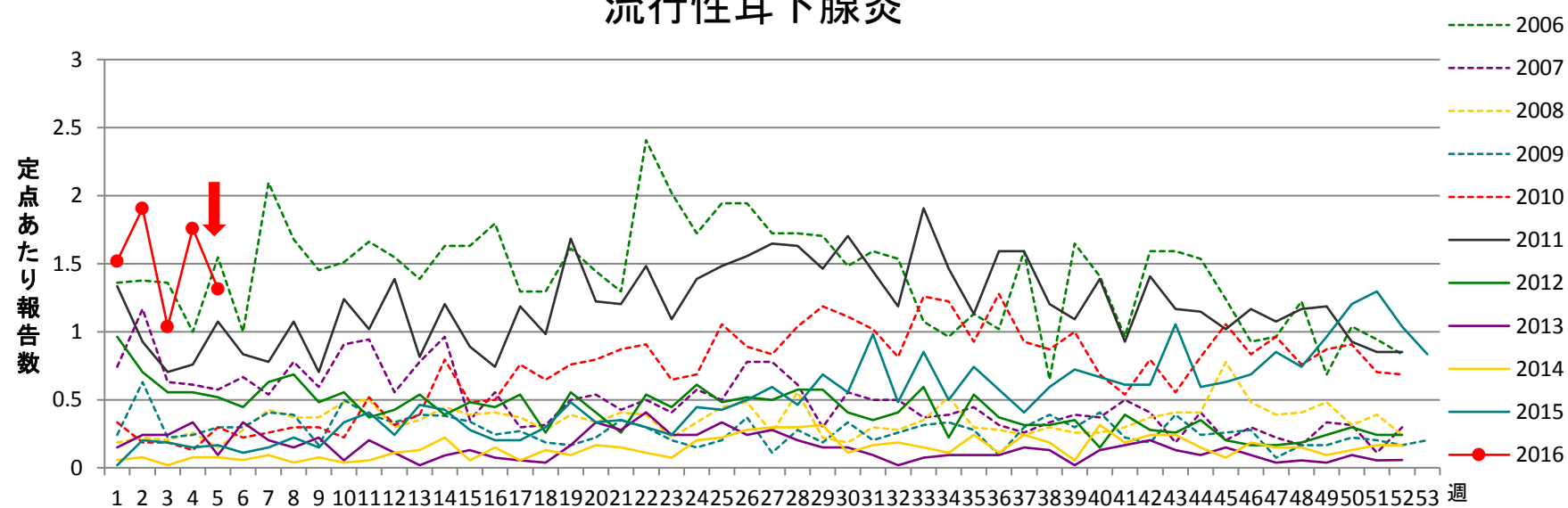
百日咳



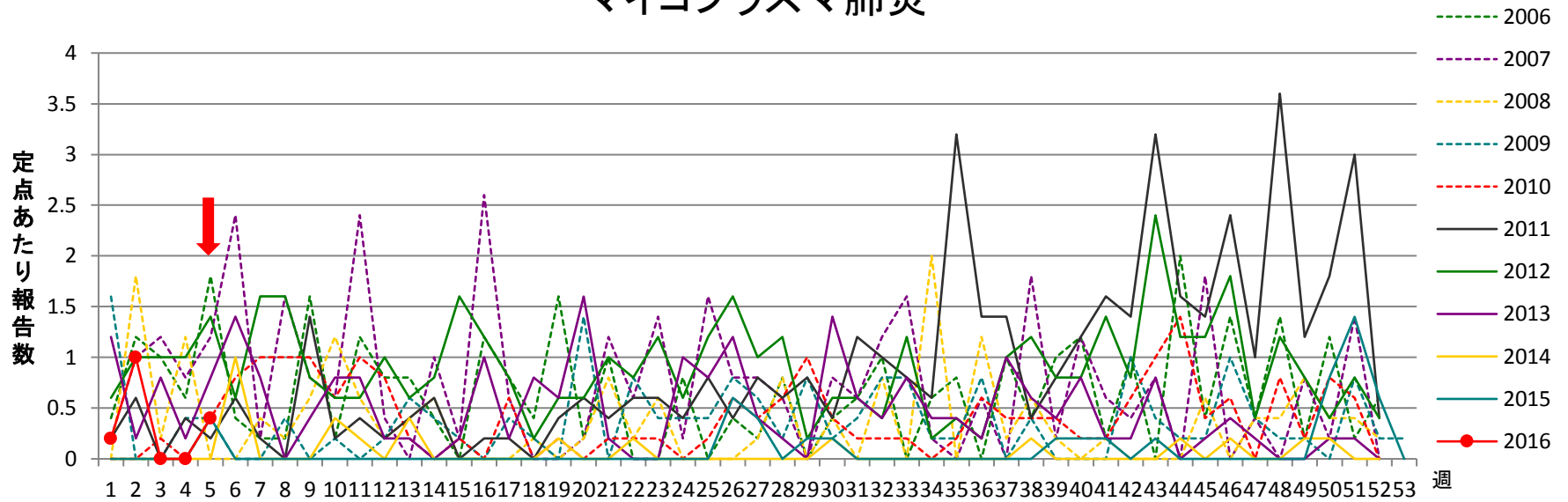
ヘルパンギーナ



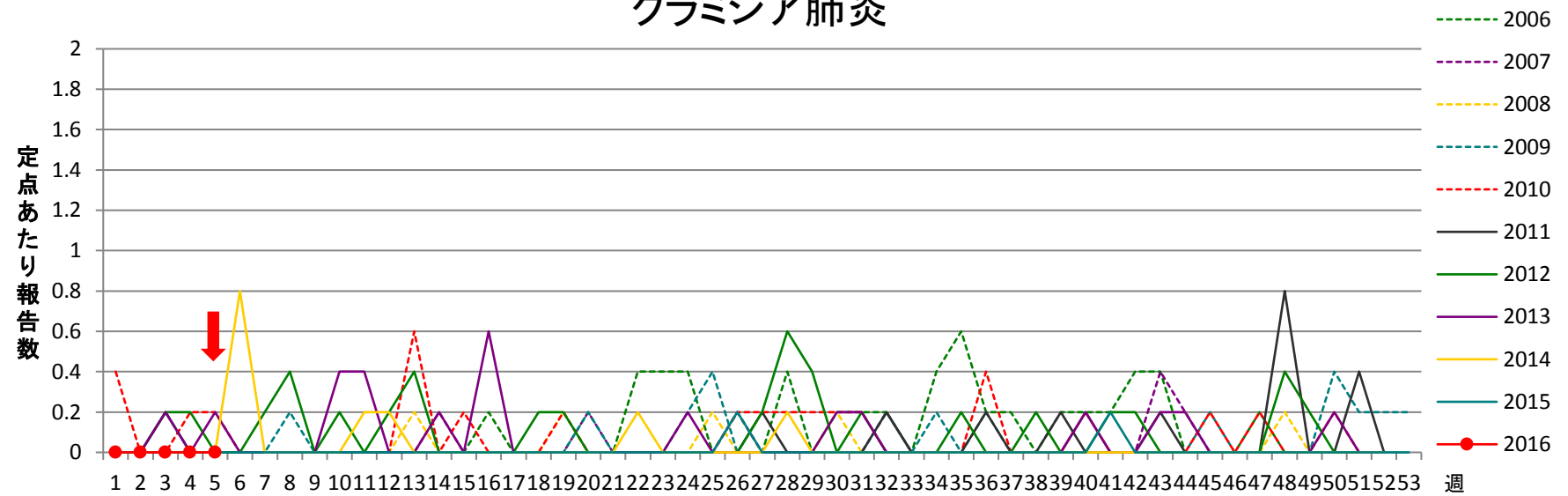
流行性耳下腺炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

